



東京理科大学報

TUS *Journal*



学長メッセージ

「さまざまな
体験を通して、
人間的な成長を」

vol. **181**

平成23年度 新年度が スタート

start!

平成23年4月、約5,700人の
新入生を迎えた各キャンパスで、
新年度がスタートしました。
4月9日に予定されていた入学式は、
3月11日に発生した東日本大震災の
影響で中止となりましたが、
各キャンパスでは新入生ガイダンスや
課外活動ガイダンスなどが行われ、
桜の開花と共に新生活が始まりました。



新入生の皆さんへ 「さまざまな体験を通して、 人間的な成長を」

学長

藤嶋 昭



皆様ご存じのとおり、東日本大震災のため、東京理科大学入学式を中止させていただきました。多くの被災者の皆様にお見舞い申し上げるとともに、1日も早い復興を願っているところです。また、東京理科大学に関係する学生の皆さんの中には、被災された方々もいらっしゃいますので、全学をあげて募金活動も始めております。

このような折の新年度ですが、学長としまして、一言ごあいさつを申し上げます。

新入生の皆さん、大学院、専攻科に進学された皆さん、入学、進学まことにおめでとうございませう。また、学生の皆さんを今まで支えてこられたご家族の方々にも心からお慶びを申し上げます。新入生の皆さんには、東京理科大学で学ぶにあたって本学の歴史や教育方針についてご説明するとともに、これから大学生活を送るにあたっての心構えについてもお話ししたいと思います。

東京理科大学の起源は、今を遡ること130年、明治14年(1881年)に設立された「東京物理学講習所」という小さな専門学校で、その2年後に「東京物理学校」

と改称されました。設立に携わったのは、当時東京大学理学部物理学科を卒業したばかりの20代半ばの若い理学士たちでした。彼らは「法文学の諸学科に比べて理学の諸学科の進歩が著しく遅れているので、国の発展のために理学の普及を行う必要がある」という強い志のもとに、多くの困難を克服し、多大の努力を払って学校を運営したのです。わが国が近代化を成し遂げた明治から大正にかけて、当時のエリート養成学校である師範学校と中等学校の数学、物理学、化学の教員の内、実に半数以上を物理学校の卒業生で占めることによって、理学の普及によって国を発展させるという精神を实践したのです。当時は学校の理数教員といえは物理学校出身者ということになっていましたので、夏目漱石の小説「坊っちゃん」の主人公の数学の先生も物理学校出身なのです。物理学校は真に実力をつけた者しか卒業させなかったため、「実力主義」の学校として定評があり、今日でもその伝統を受け継いでいます。

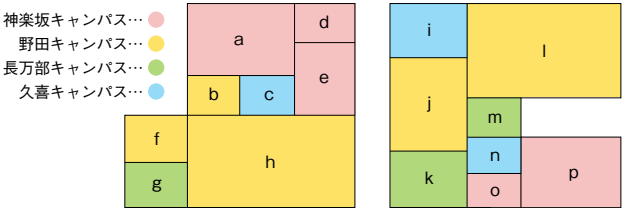
第二次世界大戦後に行われた学制改革に伴って、「東京物理学校」は「東京理科大学」となり、理学部だけ

でなく薬学部、工学部など多くの学部・学科が新設され、また、大学院研究科も設置されて、今日では大学では8学部33学科、大学院では11研究科30専攻という私学有数の理工系総合大学として発展してきました。東京理科大学となっても優れた教員を輩出し、今日も全国の高等学校などで教鞭をとっていますが、同時に18万人もの卒業生は科学者、技術者として日本各地で活躍しておられます。皆さんは、本学の輝かしい歴史を受け継ぐ主役となったのです。ぜひとも悔いのない大学生活になるよう努力してください。私たち教職員も熱心に授業をし、実験を指導します。皆さんも自らを高めるように努力し、本当の実力をつけてください。そして本学の歴史に誇りをもって、さらに本学を発展させる気概をもって大学生活を送っていただきたいと思います。

世の中が便利になってきています。特に最近の科学・技術の進歩の速さには驚かされます。コンピュータの進歩、インターネットの普及、宇宙の不思議はもちろん、我々の体のなりたち、あるいは動物・植物のことも次々とバールがはがされ、よくわかるようになってきています。



満開の桜が咲き誇る中、 授業や課外活動など 新生活がスタート



a.e.ガイダンス会場に入場するため、列を作る新入生たち。b.教科書販売所に並ぶ新入生。c.d.o.サークル勧誘の様子。f.野田キャンパスの中庭で行われた新入生歓迎のライブ。g.長万部キャンパス入寮式の様子。h.薬学部キャンパスでは、広々とした芝生でランチを楽しむことができる。i.なごやかなムードの教員紹介ガイダンス。j.l.満開の桜の下、ランチを食べる学生たち。k.新しい仲間と食べるランチは格別。m.入寮式に参加した父母を見送る新入生。n.p.課外活動について説明を行うガイダンスの様子

科学の歴史の上で活躍した人を100人ほど選び、時代順にたどってみると面白いのではないかと、またその科学者が残してくれた名言や公式などをまとめてみると、現代に生きる我々にも心にしみるものが多いのではないかと考えました。そういう思いで、今年東京理科大学に入学される学部の新入生の皆さんに読んでもらえればと思い、『時代を変えた科学者の名言』と題する本を編集し、つい先日の4月1日にできあがりしました。

この本は、ピタゴラスからビル・ゲイツまでの科学者・技術者108人の方々の略歴と残された名言をまとめたものです。「人は必要に迫られるとすぐに実力を発揮する」とは、紀元前582年頃生まれのピタゴラスの言葉です。ルネサンス期のレオナルド・ダ・ヴィンチは、「どこか遠くへ行きなさい。仕事小さく見えてきて、もっと全体がよく眺められるようになります」と言っています。1642年生まれのアイザック・ニュートンは、「今日なしうることだけに全力をそそげ、そうすれば明日は一段の進歩を見るだろう」という言葉を残しています。詩人、小説家として有名なゲーテは、地質学や工学の研究に

も力をそそいだ自然科学者でもありました。「自分1人で石を持ち上げる気がなかったら、2人でも持ち上げられない」とは名言です。1879年生まれのアインシュタインの言葉として、「過去から学び、今日のために生き、未来に対して希望を持つ。大切なことは、何も疑問を持たない状態に陥らないことです」とあります。そして現在も活躍しているビル・ゲイツは、「少なくとも一度は人に笑われるようなアイデアでなければ、独創的な発想とはいえない」と言っています。

このように、時代を変えた科学者たちの、発想力と想像力をこの本をとおして感じてもらえれば幸いです。私自身この本を編集してみて、これらのすばらしい言葉に感動しました。

皆さんは、これから本学での授業を受け、また実験をとおして、専門的な知識をつけていきます。この勉学こそ一番重要なことですが、この勉学以外にも少なくともさらに一つのことを加えてもらえればと思います。スポーツや文化系のクラブ活動にもぜひ参加してください。あるいは夢中になって英語などの語学の力をつけるの

もよいと思います。専門以外のことを少なくとも一つは実行するように努めてください。それによりさらにクラスでの友人とは違う考えの友だちを持つことができ、違う視点でのものの考え方を身につけることができると思います。このときの友だちこそ一生の友人になるものです。いろいろ要望を申し上げましたが、それらの中の共通のキーワードは「実行する」ということです。これから過ごす大学生活で、さまざまな、多くの体験を通して、トータルに人間的な成長をとげていただきたいと思います。新入生の皆さんがこれから本学で過ごす年月は、長いようでもあとから振り返ってみると短いものです。東京理科大学の初代学長の本多光太郎先生は「今が大切」ということをモットーとしていました。1日、1日を大切に生きて過ごすことが、皆さんの人生を豊かにするものと信じます。

あらためて入学、進学した皆さんの門出をお祝いし、物事を楽天的に考えるプラス志向で、皆さんの最も輝かしい青春の時期を思う存分満喫し、悔いのない学生生活を送っていただくことを願っています。

東日本大震災の対応について

3月11日(金)に発生した東日本大震災は、東北地方および関東地方に未曾有の被害をもたらしました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

地震の第一波の後、直ちに神楽坂校舎に緊急対策本部を設置。建物からの退避の指示を出すと同時に、各キャンパスや研修所など本法人の全施設を対象とした被害調査が行われました。通信手段が混乱する中、各施設からの報告が完了したのは夕刻になってからでしたが、各施設ともけが人等の人的被害、建物損壊等の大きな被害はありませんでした。我々がかつて経験したことのない激しい揺れであったにもかかわらず、人的被害がなかったことは幸いでした。

この地震の被害状況がテレビ等の報道で伝えられ、首都圏の公共交通が完全まひ状態であり当日中の回復は見込めないことが判明したため、学生、教職員など帰宅困難者の学内宿泊について対応し、神楽坂地区1,153人、野田地区550人、久喜地区10人、合わせて1,713人のほか、帰宅途中の一般市民51人を受け入れました。

翌日以降、交通事情は徐々に回復したものの、通勤・通学に大きな支障が出ました。また、福島第一原子力発電所の事故の影響もあり、混乱を避けるため学生には登校自粛を指示し、教職員においては弾力的な出勤体制をとることとしました。

3月19日(土)に予定していた学位記・修了証書授与式および4月9日(土)の入学式は本学にとって重要な行事です。両式典を予定どおり举行するか否かは、いずれにしても苦渋の決断です。本学では、理事会と学長室で慎重に協議した結果、学生、父母、教職員の安全を第一とし、両式典の中止を決定いたしました。なお、被災した学生に対しては特別に配慮することを前提として、新学期の学事日程は予定どおり行うこととしました。

今回の震災の影響は長期に及ぶことが予想されています。この未曾有の事態の中、本学は、学生の安全を最優先としつつ高等教育機関としての社会的責務を果たしていく所存です。また、被災された方々に対し、以下のとおり支援を行います。

- 被災した在学生、入学予定者の安否確認
- 教職員による被災地への義援金の募金活動
- 維持会による被災学生対象の奨学金制度
- 避難者受け入れ施設として大子研修センターを提供

なお、今回の災害による災害救助法適用地域に居住されている在学生・新入生およびその家計支持者を対象に経済支援措置を講じることといたしました。詳しくはHPを参照するか、以下の「何でも相談窓口」に相談してください。

【何でも相談窓口】

神楽坂・九段 学生課(9号館2階) 03-5228-8127

野田 学生課特設窓口(1号館2階) 04-7122-1509

久喜 学務係(D棟1階) 0480-21-7602

長万部 学務係(1号館1階) 01377-2-5111



平成23年度事業計画が決定

学校法人東京理科大学では、私立学校法の定めにより、毎年度作成する「事業計画」について、評議員会の意見を聴いておりますが、このたび「平成23年度事業計画(案)」に対し同意の議決が得られ、理事

1. 教育・研究

●大学院の設置等

①科学教育研究科科学教育専攻博士後期課程の設置

科学教育関連領域における高度な研究能力を備える人材の養成を目的として、「科学教育専攻博士後期課程」を平成23年4月に設置する。

②薬学研究科薬学専攻博士課程および薬科学専攻博士後期課程設置の検討

薬剤師の職能を一層発展させることを主たる目的とする「薬学専攻博士課程」、および、薬科学関連領域における質の高い薬学研究者の養成に重点を置く「薬科学専攻博士後期課程」を平成24年4月に設置する検討を進める。

③国際火災科学研究所火災科学専攻博士後期課程設置の検討

火災科学の実務型専門技術者が、高度な研究能力を備えること、さらに実務的火災安全技術を展開できる高度な専門職能を有する人材の養成を目的として、国際火災科学研究所に「火災科学専攻博士後期課程」を平成24年4月に設置する検討を進める。

④総合科学技術経営研究科の名称変更

平成23年4月に総合科学技術経営研究科を「イノベーション研究科」へ名称変更する。

●大学院の入学定員変更の検討

理学研究科物理学専攻修士課程、数理情報科学専攻修士課程、および総合化学研究科総合化学専攻修士課程において、志願者数、入学者数の増加に対応することを目的として、入学定員を平成24年4月に変更すべく検討する。

●国際化の推進

平成22年度まで推進してきた各種の国際教育研究連携の取り組み実績の評価・検討を通して、インフラの整備を進めるとともに、主に次の項目に取り組む。

- ①サマープログラム充実およびその後の留学への意識向上を図り、学部学生の語学力の向上を目指す。
- ②ダブルマスター・ディグリープログラムについては、連携校と本学双方からの修士号取得を達成できるよう支援する。

●つくばイノベーションアリーナ(TIA)連携大学院コンソーシアム構想への参画

「つくばイノベーションアリーナ(TIA)連携大学院コンソーシアム」へ加入することを決定し、講義の提供等の協力内容についての協議を進める。

2. 入試制度

●外国人留学生試験(大学院)の実施時期変更

2月に実施していた外国人留学生試験(大学院)を8月実施に変更する。

●高大連携事業(協定校制度計画)の検討

高等学校と協定を締結し、社会が求める真の理工系エリートを養成するため、推薦入学制度を含む高大連携事業の導入を検討する。

3. 施設設備

●葛飾キャンパスの建設

葛飾キャンパスについては、平成23年1月に施工業者を選定し、5月より新築工事を開始する。開設は平成25年4月の予定である。

●神楽坂地区再構築

神楽坂キャンパスでは、1・6号館の改修工事を計画している。

●近代科学資料館のリニューアルおよび野田分館の開設

近代科学資料館では、2階スペースを活用し、ゆとりある展示を行うことを主眼にリニューアルを行う。また、カナル会館3階に近代科学資料館野田分館の開設を予定し、平成23年10月のオープンを目指し開設準備を進める。



会において承認されましたので、その概要をお知らせします。また事業計画書の全文は、後日、本学公式ホームページにて公開する予定ですので、ご参照ください。

4. 管理・運営

●事務組織の改編

平成23年4月1日付けで、葛飾キャンパス開設準備室を新設するほか、財務部管財課(神楽坂)環境安全管理室に野田分室を設置する。また、業務の一層の効率化を目的として、部署の統合等の組織改編を併せて行う。

●自己点検・評価の実施および認証評価の中間評価受審

平成23年度より、大学評価委員会のもとで自己点検・評価を行う。また、平成20年度に受審した(財)大学基準協会による認証評価の中間評価を受審する。

●産学官連携活動の強化

「複合領域『知財群』創造的活用ネットワーク構築」事業に、平成23年度より、山梨大学、農工大TLO等が新たに加わり、引き続き特許および研究者等を特定分野ごとに分けた「知財群」づくりを推進する。

●大学公式ホームページのリニューアル

使いやすさ、見やすさの向上や英語版の拡充等を目的にリニューアルした大学公式ホームページを平成23年4月より公開する。

5. 山口東京理科大学

●大学院の教育研究体制の整備

基礎工学研究科の名称を工学研究科に変更する検討を進めるとともに、学部教育と有機的な連携が図れるよう、教育研究体制の整備を行う。

●文部科学省G-P採択事業の体制強化

平成22年度に「大学生の就業力育成支援事業」に採択された「『ものづくり』から生み出すキャリア育成」の体制強化にあたり、教育体系の見直しを行う。

●就職支援体制の強化充実

「人材支援センター」を設置し、学生の適職実現を図るための企業訪問や、カウンセラーによる相談体制を強化する。

●地域との連携強化

①山口県立大学、山口学芸大学との連携事業の推進

これまでの各種連携事業を総括し、次年度以降の継続的な連携構築へ向けた基盤づくりを進める。

②小野田青年会議所との連携による地域貢献型の新たな学生支援体制の構築

若手経営者と学生の交流を図り、学生生活を活性化するとともに、地域の発展にも貢献する新たな学生支援体制を構築する。

●国際化への対応

留学生教育に実績のある高等学校との連携教育を開始し、高校教育と大学教育との接続強化を図る等、留学生が安心して学生生活を送るための体制を整備する。

6. 諏訪東京理科大学

●工学・マネジメント研究科博士後期課程設置の準備

工学・マネジメント研究科に工学・マネジメント専攻博士後期課程を平成24年4月に設置すべく、文部科学省への設置認可申請手続きを進める。

●地域連携の推進

茅野市、茅野商工会議所との3者間連携を強化する。また、併せて長野県内大学との連携強化を図る。

●諏訪東京理科大学中長期計画案の策定

学生を安定的に確保して人材育成を進めるとともに、地域産業の活性化に一層貢献するため、平成24年度から5～15カ年を対象とする中長期計画案を策定する。

●学生サポート体制の充実

学生の学力を高め、かつ就職活動に入る前段階での就業力を養成するための教育支援体制を強化する。

●学生証および教職員証のICカード化に対応した設備計画の策定

東京理科大学、山口東京理科大学での導入実績・問題点等を踏まえ、システム導入に係る設備計画を策定する。

●省エネルギー法に基づくエネルギー管理体制の整備

省エネルギー法に基づく管理標準によるエネルギー管理体制の構築を目指し整備を進める。

理/窓/会/だ/よ/り 会長 山田義幸

理窓会活動の拠点、事務室と理窓会倶楽部がPORTA神楽坂に移転しました

大学創立125周年記念事業で神楽坂通りに建設されたPORTA神楽坂に、仲通りの末よしビルにあった理窓会事務室と理窓会倶楽部と会議室が移転しました。昭和62年に大学キャンパス内から仲通りへ移って以来24年ぶりのことです。理窓会事務室は3月28日から7階で業務を開始しました。事務室は本部事務室と委員会室に分かれ、委員会室は各種委員会、支部、関連団体の打ち合わせや執務に使用します。理窓会倶楽部は4月11日から6階で昼夜営業を開始しました。倶楽部談話室は、市価よりも安価に飲食を提供し全ての卒業生と教職員、こうよう会会員にくつろぎと懇親の場を提供します。面積が従来の約2倍半となり、理窓会関連書籍の閲覧ができる機能も備えた、落ち着いた雰囲気ラウンジになりました。

理窓会倶楽部は、談話室と会議室の運営、理窓会グッズの販売などを行っていますが、倶楽部の運営を資金的に応援する年会費1万円の倶楽部協力会員という制度があり、どなたでも参加できます。協力会員は談話室利用上の特典があり、長年にわたり全ての利用者のために倶楽部の応援を続けてきた良き伝統を継続したいと思います。多くの皆様のご協力をお願い致します。

Finance

平成23年度予算について

本法人は、研究拠点としての役割に重点を置いた大学を目指すことを明確にし、そのための環境整備および教育・研究環境の改善に向け、ゆとりあるキャンパス整備に取り組んでいます。このゆとりあるキャンパス

の実現に向け、平成25年4月の開設を目指し、葛飾校舎の建設を推し進めています。平成23年度には、神楽坂地区既存校舎の改修を継続し、神楽坂地区の整備がさらに進むこととなります。また財務体質の強化およ

び将来の基盤整備をするために、新規で特定預金を予算措置することとします。平成23年度予算は、これらの事業計画および健全経営の理念に基づき、次のことを重点項目として盛り込みました。

重点項目

1. 葛飾校舎建築計画

①葛飾校舎新築工事

2. 神楽坂地区再構築計画

- ①1・6号館外壁改修工事
- ②6号館1階改修工事
- ③仮移転用賃借物件解約に伴う現状復帰費
- ④仮移転用教室等に係わる賃借料
- ⑤九段校舎賃借料

3. 研究開発プロジェクト

- 【新規】
- ①戦略的環境次世代健康科学研究基盤センター
- ②先端ホログラフィ技術研究開発センター
- 【継続】
- ①グリーン&セーフティ研究センター
- ②戦略的物理製剤学研究基盤センター
- ③RNA科学総合研究センター
- ④がん医療基盤科学技術研究センター
- ⑤界面科学研究センター
- ⑥キラルマテリアル研究センター

4. 上記3を文部科学省が行う

「学術研究高度化推進事業」および「戦略的研究基盤形成支援事業」の対象経費とすることとし、研究設備整備費等補助金および経常費補助金(特別補助)を予算措置すること。

5. 新設の特定預金

- ①減価償却引当特定預金
- ②葛飾二期土地購入引当特定預金
- ③葛飾施設設備整備引当特定預金
- ④将来事業引当特定預金

なお、資金収支予算書における前年度繰越支払資金および消費収支予算書における前年度繰越消費支出超過額は、平成22年度決算確定前の予算額に基づいています。

(詳細は、7月頃ホームページへ掲載予定)

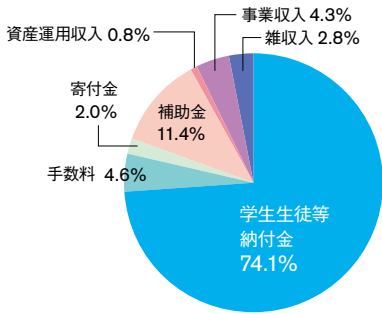
●平成23年度資金収支予算

収入の部		支出の部	
科目	23年度予算額	科目	23年度予算額
学生生徒等納付金収入	26,379,933	人件費支出	16,838,170
授業料収入	17,079,081	教員人件費支出	10,595,889
入学金収入	2,734,210	職員人件費支出	5,148,669
実験実習料収入	1,522,587	役員報酬支出	159,848
施設設備資金収入	5,044,055	退職金支出	933,764
手数料収入	1,626,543	教育研究経費支出	9,398,087
入学検定料収入	1,579,843	消耗品費支出	2,037,897
試験料収入	7,000	光熱水費支出	1,111,487
証明手数料収入	16,300	旅費交通費支出	584,843
大学入試センター試験実施手数料収入	23,400	奨学費支出	226,594
寄付金収入	389,000	福利厚生費支出	83,736
特別寄付金収入	50,000	通信運搬費支出	128,851
一般寄付金収入	339,000	印刷費支出	306,312
補助金収入	4,051,550	広告費支出	9,982
国庫補助金収入	3,737,740	会議費支出	9,064
地方公共団体補助金収入	310,310	賃借料支出	725,090
学術研究振興資金収入	500	修繕費支出	780,815
その他の補助金収入	3,000	諸会費支出	100,187
資産運用収入	267,700	公租公課支出	662
第3号基本金運用収入	25,000	報酬・委託・手数料支出	1,958,299
受取利息・配当金収入	200,000	保守料支出	385,150
施設設備利用料収入	42,700	資料費支出	764,732
資産売却収入	0	雑費支出	184,386
不動産売却収入	0	管理経費支出	2,128,725
事業収入	1,516,670	消耗品費支出	49,385
受託事業収入	1,311,100	光熱水費支出	120,259
知的財産権実施料等収入	55,100	旅費交通費支出	71,328
公開講座受講料収入	145,760	福利厚生費支出	50,416
免許状更新講習料収入	4,710	通信運搬費支出	91,253
雑収入	1,014,290	印刷費支出	129,245
入学要項売上収入	13,000	保険料支出	20,440
私立大学退職金財団交付金収入	690,840	広告費支出	190,922
その他の雑収入	310,450	渉外・会議費支出	18,091
前受金収入	17,222,568	賃借料支出	92,993
授業料前受金収入	9,209,712	修繕費支出	62,545
入学金前受金収入	2,748,669	諸会費支出	15,609
実験実習料前受金収入	535,951	公租公課支出	160,167
施設設備資金前受金収入	4,541,486	報酬・委託・手数料支出	769,465
その他の前受金収入	186,750	保守料支出	206,672
その他の収入	11,931,668	資料費支出	21,362
退職給与引当特定預金からの繰入収入	789,460	雑費支出	58,573
葛飾校舎建築引当特定預金からの繰入収入	10,000,000	借入金等利息支出	303,904
前期末未収入金収入	818,338	借入金利息支出	303,904
貸付金回収収入	218,070	借入金等返済支出	159,980
保証金回収収入	105,800	借入金返済支出	159,980
資金収入調整勘定	△18,221,714	施設関係支出	10,902,012
期末未収入金	△950,889	建物支出	660,591
前期末前受金	△17,270,825	構築物支出	21,421
前年度繰越支払資金	41,141,780	建設仮勘定支出	10,220,000
収入の部合計	87,319,988	設備関係支出	1,995,732
		教育研究用機器備品支出	1,859,614
		その他の機器備品支出	20,861
		図書支出	115,122
		車輛支出	0
		電話加入権支出	135
		資産運用支出	9,558,942
		退職給与引当特定預金への繰入支出	789,460
		施設拡充引当特定預金への繰入支出	269,482
		葛飾校舎建築引当特定預金への繰入支出	0
		減価償却引当特定預金への繰入支出	3,000,000
		葛飾二期土地購入引当特定預金への繰入支出	2,500,000
		葛飾施設整備引当特定預金への繰入支出	2,000,000
		将来事業引当特定預金への繰入支出	1,000,000
		その他の支出	2,173,612
		貸付金支払支出	421,780
		前期末未払金支払支出	1,525,832
		前払費用支出	226,000
		予備費	300,000
		資金支出調整勘定	△1,786,212
		期末未払金	△1,564,212
		前期末前払費用	△222,000
		次年度繰越支払資金	35,347,036
		支出の部合計	87,319,988

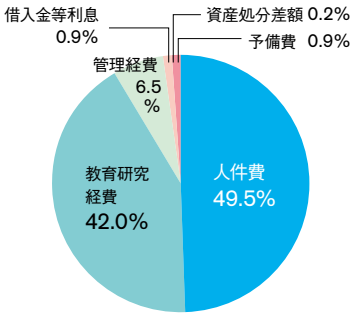
●平成23年度消費収支予算

収入の部		支出の部	
科目	23年度予算額	科目	23年度予算額
学生生徒等納付金	26,379,933	人件費	16,770,208
授業料	17,079,081	教員人件費	10,595,889
入学金	2,734,210	職員人件費	5,148,669
実験実習料	1,522,587	役員報酬	159,848
施設設備資金	5,044,055	退職金	650,809
手数料	1,626,543	退職給与引当金繰入額	214,993
入学検定料	1,579,843	教育研究経費	14,205,510
試験料	7,000	消耗品費	2,037,897
証明手数料	16,300	光熱水費	1,111,487
大学入試センター試験実施手数料	23,400	旅費交通費	584,843
寄付金	719,000	奨学費	226,594
特別寄付金	50,000	福利厚生費	83,736
一般寄付金	339,000	通信運搬費	128,851
現物寄付金	330,000	印刷費	306,312
補助金	4,051,550	広告費	9,982
国庫補助金	3,737,740	会議費	9,064
地方公共団体補助金	310,310	賃借料	725,090
学術研究振興資金	500	修繕費	780,815
その他の補助金	3,000	諸会費	100,187
資産運用収入	267,700	公租公課	662
第3号基本金運用収入	25,000	報酬・委託・手数料	1,958,299
受取利息・配当金	200,000	保守料	385,150
施設設備利用料	42,700	資料費	764,732
資産売却差額	0	雑費	184,386
不動産売却差額	0	減価償却額	4,807,423
事業収入	1,516,670	管理経費	2,216,834
受託事業収入	1,311,100	消耗品費	49,385
知的財産権実施料等収入	55,100	光熱水費	120,259
公開講座受講料収入	145,760	旅費交通費	71,328
免許状更新講習料収入	4,710	福利厚生費	50,416
雑収入	1,014,290	通信運搬費	91,253
入学要項売上収入	13,000	印刷費	129,245
私立大学退職金財団交付金	690,840	保険料	20,440
その他の雑収入	310,450	広告費	190,922
帰属収入合計	35,575,686	渉外・会議費	18,091
基本金組入額合計	0	賃借料	92,993
消費収入の部合計	35,575,686	修繕費	62,545
		諸会費	15,609
		公租公課	160,167
		報酬・委託・手数料	769,465
		保守料	206,672
		資料費	21,362
		雑費	58,573
		減価償却額	88,109
		借入金等利息	303,904
		借入金利息	303,904
		資産処分差額	64,412
		不動産処分差額	64,412
		予備費	300,000
		消費支出の部合計	33,860,868
		当年度消費収入超過額	1,714,818
		当年度消費支出超過額	0
		前年度繰越消費支出超過額	13,038,045
		基本金取崩額	887,202
		翌年度繰越消費支出超過額	10,436,025

〈平成23年度帰属収入の内訳〉



〈平成23年度消費支出の内訳〉



平成22年度 第一次・第二次・第三次補正予算について

学校法人東京理科大学理事会は、平成22年度の補正予算について、以下のように定めました。

1. 第一次補正予算

神楽坂キャンパス再構築に伴う近隣土地建物の取得について、次の項目を盛り込み、第一次補正予算を編成しました。

- (1)土地建物取得に係る施設関係支出を22億円計上すること。
- (2)土地建物取得に係る公租公課支出を計上すること。
- (3)購入資金として施設拡充引当特定預金および維持会施設拡充引当特定預金からの繰入収入を新規計上すること。

2. 第二次補正予算

「九段校舎」土地建物売却および第一次補正予算の土地建物取得計画中止に伴う第一次補正予算関係の修正を含んだ次の項目を盛り込み、第二次補正予算を編成しました。

- (1)「九段校舎」の土地建物を217億円で売却すること。

- (2)「九段校舎」の土地建物売却に係る報酬・委託・手数料支出を計上すること。
- (3)「九段校舎」に係る借入金を繰上げ返済すること。
- (4)近隣土地建物取得計画中止に係る諸項目を取消すこと。

3. 第三次補正予算

「九段校舎」土地建物売却に伴い、次の項目を盛り込み、第三次補正予算を編成しました。

- (1)退職金期末要支給額に対する退職給与引当金計上割合を50%から100%へ変更すること。
- (2)葛飾校舎建築引当特定預金を60億円積み増し、第2号基本金に計上すること。

なお、平成22年度第一次・第二次・第三次補正予算書は、本学ホームページをご参照ください。

Tuition

平成24年度
新入学生に対する
学費について

学校法人東京理科大学理事会は、平成24年度新入学生の学費について、据え置くことと決定しました。

私学の財源は、その大部分を学生納付金収入と補助金収入に依存しています。本学では財政基盤の安定化を図るため、外部資金導入や資産運用など積極的な収入増を図る努力をしていますが、現状では学生納付金収入は帰属収入の73.8%を占め、本学の財政の基礎を成す最も重要な収入です。

本学の学費の改定は、「前年度までの人事院勧告による給与改定を基礎として、その都度国庫補助金、物価指数等を考慮して決定する」を算定方針とし、さらに、それらの推移・学生数・教育研究への取り組み・施設や設備の整備・財政状況等を総合的に判断したうえで、「新入学生」のみ実施してきました。

本学では、平成25年4月に葛飾キャンパスを開設するなど教育・研究環境の大幅な改善に取り組んでおりますが、平成24年度新入学生に対する学費は、据え置くこととしました。

People

2011 SPRING

副学長に理工・機械の菊池教授就任

副学長制度 4人体制に拡充

学校法人東京理科大学は平成23年4月1日付で理工学部機械工学科の菊池正紀教授に東京理科大学副学長を委嘱しました。任期は2年間。これにより、副学長は4人体制となりました。各副学長の担当業務は次のとおりです。



植木 正彬 副学長(任期中)…総務・入試担当

瀬戸 裕之 副学長(任期中)…広報・リスク管理担当

福山 秀敏 副学長(任期中)…研究・産学官連携担当

菊池 正紀 副学長(新任)……国際化推進担当

石井教授に名誉教授称号

本学の発展に対し 多大なる功績が 認められました

東京理科大学は、長年にわたり本学の教育・研究の発展に尽力され、多くの功績を上げられた理学部第一部の石井力教授に名誉教授の称号を授与しました。平成22年11月11日付



石井力先生は、昭和49年から在職され、理学部第一部物理学科主任、研究科幹事、情報科学研究・教育機構長、理学部第一部学部長、理学研究科長などを歴任されました。また、学長補佐、副学長を務められ、大学の運営に多大な貢献をされてこられました。専門は、物性物理

学における理論的研究であり、超伝導の理論および磁性体の理論で多大な功績を上げてこられました。特に正常金属を介したジョセフソン接合の物理や近藤格子におけるスピン系の理論に関する一連の研究で国内外の高い評価を得られました。

新研究科長就任

大学院 2研究科長が 新たに就任します

平成23年4月1日付で、総合化学研究科長に理学部第一部化学科の築山光一教授が、科学教育研究科長に同研究科科学教育専攻の小川正賢教授が就任しました。



総合化学研究科長
築山光一 教授



科学教育研究科長
小川正賢 教授

新任教員30氏紹介

①最終学歴 ②前歴
③専門分野 ④学位



【理学部第一部】
教養学科／講師
中丸 禎子
なかまる・ていこ

①東京大学大学院人文社会系研究科
欧米系文化研究専攻博士課程修了②
日本学術振興会特別研究員・PD③ド
イツ文学④博士(文学)



【理学部第一部】
化学科／准教授
河合 英敏
かわい・ひでとし

①北海道大学大学院理学研究科化学
専攻 博士後期課程 単位取得退学②
北海道大学大学院理学研究院化学部
門 助教③構造有機化学、超分子化
学④博士(理学)



【理学部第一部】
応用物理学科／講師
宮島 顕祐
みやじま・けんすけ

①大阪大学大学院基礎工学研究科物
理系専攻 博士後期課程修了②大阪
大学大学院基礎工学研究科助教③光
物性④博士(理学)



【工学部第二部】
建築学科／教授
坂牛 卓
さかうし・たく

①東京工業大学大学院建築学専攻修
了②信州大学工学部建築学科教授③
建築意匠、設計④博士(工学)



【薬学部】
薬学科／教授
東 達也
ひがし・たつや

①金沢大学大学院薬学研究科修了②
静岡県立大学薬学部准教授③臨床分
析科学④博士(薬学)



【薬学部】
薬学科／教授
山下 親正
やました・ちかまさ

①徳島大学大学院薬学研究科博士課
程修了②大塚製薬株式会社ODPI
事業部研究開発部長③製剤設計学、
DDS、吸入システム④薬学博士



【理工学部】
応用生物科学科／准教授
松永 幸大
まつなが・さちひろ

①東京工業大学大学院理学系研究科生
物科学専攻博士課程修了②大阪大学
大学院工学研究科生命先端工学専攻
教授③生命動態学、イメージング④
博士(理学)



【理工学部】
建築学科／教授
岩岡 竜夫
いわおか・たつお

①東京工業大学大学院博士課程修了
②東海大学工学部建築学科③建築意
匠、建築設計④工学博士(東京工業
大学)



【理工学部】
建築学科／准教授
安原 幹
やすはら・もとき

①東京大学大学院工学系研究科建築
学専攻修士課程修了②SALHAUS一
級建築士事務所③建築設計④修士
(工学)



【理工学部】
土木工学科／准教授
加藤 佳孝
かとう・よしたか

①東京大学工学部土木工学科卒業②
東京大学生産技術研究所准教授③コ
ンクリート工学、建設材料マネジメ
ント④博士(工学)



【経営学部】
経営学科／准教授
梅澤 正史
うめざわ・まさし

①慶應義塾大学大学院理工学研究科
開放環境科学専攻博士後期課程修了
②大東文化大学経営学部企業システ
ム学科准教授③ゲーム理論、オペ
レーションズ・リサーチ④博士(工
学)



【経営学部】
経営学科／准教授
西村 孝史
にしむら・たかし

①一橋大学大学院商学研究科博士後
期課程単位取得退学②徳島大学大
院ソシオ・アーツ・アンド・サイエ
ンス研究部准教授③人的資源管理論
④博士(商学)



【イノベーション研究科】
技術経営専攻／教授
東 実
あずま・まこと

①東京大学理学系大学院修士課程修
了②株式会社東芝顧問③パワー半
体デバイス④理学修士(東京大学)



【山口東京理科大学工学部】
一般基礎／准教授
金田 和博
かねだ・かずひろ

①東京理科大学大学院理学研究科物
理学専攻博士課程修了②三洋電機株
式会社ソーラーエナジー研究所主任
研究員③酸化物物性、薄膜物性④博
士(理学)



【山口東京理科大学工学部】
電気工学科／教授
森田 廣
もりた・ひろし

①東京大学教養学部基礎科学科卒業
②(株)東芝技術部長、東芝モバイ
ルディスプレイ(株)企画部長③電
子デバイス工学④工学博士

シリコンバレー便り

サンフランシスコ在住の理科大OBからの寄稿を紹介します。

1988年理工学部電気工学科卒の府川と申します。2001年にアメリカに海外赴任し、翌年、独立してシリコンバレーにTechDream社を設立。現在は主にEMC(電磁波ノイズ)のコンサルティングおよび、日本のEDAソフトウェア・電子部品・基板材料メーカーのセールスレップ(代理店)事業を行っています。

学生時代は、体育会のハンドボール部に所属し、今でも日本に出張で帰った際は、OBの神楽坂会のシニアチームで、ハンドボールを続けています。アメリカでも、地元のハンドボールのクラブに所属して、平日の夜は練習に参加しています。土日にはカルフォルニアの青い空の下、日本人野球リーグで、野球も楽しんでいます。

かれこれ8年前くらいに、仕事関係で知り

合った理科大OBの方々と北加(北カルフォルニア)理窓会を立ち上げまして、メンバーの交流を深めるため、バーベキューや飲み会をたびたび開催していました。しばらくは休みがちだったのですが、現地理科大事務所の職員の方に昨年末お会いしたのがきっかけで、再び、活動が盛り上がりつつある今日この頃です。始めた頃は、4～5人の会だったのですが、今では20人近くのメンバーが登録しています。

今後は、北加理窓会として、積極的に現役学生の留学、インターンなどの支援や、アメリカの大学との技術交流の橋渡し、理科大OB企業のアメりカ進出の応援など、理科大の国際化に貢献していければと思っています。シリコンバレーにお越しの際は、是非、お声掛けください！



北加理窓会のメンバー(前列右端が府川さん)

府川佳広(ふかわ・よしひろ)

経歴：
1988年 理工学部電気工学科卒
1988年 山武ハネウエル入社
1999年 ソーフコポーレーション入社
2001年 ソーフUSAでアメリカに海外赴任
2002年 TechDream社を設立し、現在に至る

定年 退職

長年にわたり本学の教育・研究、事務に尽力された25氏が平成23年3月31日付で定年を迎えられました。

- 理1：数学・岡沢登 教授／物理・橋本巖 教授／化学・石田和弘 講師
- 理2：数学・新妻弘 教授
- 薬：薬・芳賀信 教授／西谷潔 教授(選択定年)
- 工1：教養・野崎嘉信 教授／建築・真鍋恒博 教授
- 工2：電気・増井典明 教授
- 理工：応生・井上康則 教授／機械・町田賢司 教授／土木・臼木恒雄 教授／龍岡文夫 教授
- 基礎工：材料・福田博 教授
- 経営：井上洋 教授／原田昇 教授
- 山口理大：機械工・加納誠 教授／応用化・木付和幸 教授
- 諏訪理大：電子システム工・宮澤悟 教授／機械システム工・西山勝廣 教授／経営情報・山腰光樹 教授
- 事務総局：小淵勝巳・校友・父母支援事務部次長／増田和彦・広報課係長／牧野正幸・理学事務課理学部第二部事務室課長補佐／藤島一天・野田事務部庶務課課長補佐

歴史を塗り替える新しい力に



【理学部第二部】
数学科／講師
佐藤 隆夫
さとう・たかお

①東京大学大学院数理学研究科数理科学専攻博士課程修了②京都大学大学院理学研究科 特定助教(グローバルCOE)③代数学④博士(数理学)



【理学部第二部】
化学科／講師
青木 健一
あおき・けんいち

①東京工業大学総合理工学研究科物質科学創造専攻博士後期課程修了②東邦大学理学院 先進フォトポリマー研究部門・特任講師③機能性高分子・分子集合化学④博士(工学)



【工学部第一部】
教養／講師
山本 貴博
やまもと・たかひろ

①東京理科大学大学院理学研究科物理学専攻博士後期課程修了②東京大学大学院工学系研究科助教③物性理論・ナノサイエンス④理学(博士)



【理工学部】
数学科／教授
伊藤 浩行
いとう・ひろゆき

①大阪大学大学院理学研究科博士前期課程修了②広島大学大学院工学研究科准教授③代数学④博士(理学)



【理工学部】
数学科／准教授
廣瀬 進
ひろせ・すすむ

①東京大学大学院数理学研究科数理科学専攻博士課程中途退学②佐賀大学大学院工学系研究科准教授③数学(位相幾何学)④博士(数理学)



【理工学部】
応用生物科学科／教授
古市 貞一
ふるいち・ていいち

①東京都立大学大学院博士課程中途退学②独立行政法人理化学研究所脳科学総合研究センター チームリーダー③脳科学、分子神経科学④博士(理学)



【理工学部】
電気電子情報工学科／講師
中村 文一
なかむら・ふみかず

①奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程修了②奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助教③制御工学④博士(工学)



【理工学部】
機械工学科／講師
松崎 亮介
まつざき・りょうすけ

①東京工業大学大学院理工学研究科機械物理学専攻博士課程修了②東京工業大学大学院理工学研究科機械物理学専攻助教③複合材料、スマートプロセッシング、スマートストラクチャ④博士(工学)



【理工学部】
土木工学科／教授
木村 吉郎
きむら・きちろう

①オタワ大学大学院工学研究科土木工学専攻博士課程修了②九州工業大学大学院工学研究科准教授③構造工学、風工学④Ph.D. (土木工学)



【経営学部】
経営学科／講師
西口 純代
にしぐち・すみよ

①大阪大学大学院言語文化研究科言語文化専攻博士後期課程修了②徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部助教③言語学④博士(言語文化学)



【経営学部】
経営学科／講師
山根 里香
やまね・さとか

①大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程修了②ESSEC(仏) ビジネススクール客員研究員③管理会計、プロジェクト・マネジメント④博士(経営学)



【科学教育研究科】
科学教育専攻／教授
北原 和夫
きたはら・かずお

①東京大学理学系研究科修了②国際基督教大学教授③物理学、科学教育④リュウセル自由大学理博



【諏訪東京理科大学システム工学部】
電子システム工学科／准教授
杉田 誠
すぎた・まこと

①京都大学大学院理学研究科修士課程数学専攻修了②日本電信電話株式会社未来ネット研究所③情報セキュリティ④博士(情報理工学)



【諏訪東京理科大学経営情報学部】
経営情報学科／講師
井上 善美
いのうえ・よしみ

①明治大学大学院経営学研究科博士後期課程修了②日本学術振興会特別研究員③マーケティング、国際マーケティング④博士(経営学)



【諏訪東京理科大学経営情報学部】
経営情報学科／講師
山縣 宏寿
やまがた・ひろひさ

①明治大学大学院経営学研究科博士後期課程修了②明治大学経営学部非常勤講師、中央大学法学部非常勤講師他③人的資源管理論④博士(経営学)

維持拡充資金(第二期) 寄付者芳名

「維持拡充資金(第二期)」にご賛同いただき、ご寄付をたまわった方々のご芳名を掲載します。今回は、2010年11月1日～2011年1月31日までにお振り込みいただいた分です。ご芳名は区分別・金額別・五十音順ですが、区分で重複する方はいずれか一つに掲載させていただきます。なお、累計は維持拡充資金(第二期)の寄付額です。

【個人】

◇金6,500,000円
森野 義男 様
(累計金18,000,000円)
◇金1,000,000円
飯島 善四郎 様
◇金700,000円
石井 智 様
◇金600,000円
水島 磐男 様
◇金500,000円
岡崎 英博 様
加藤 和詳 様
◇金300,000円
石神 一郎 様
(累計金500,000円)
宮川 公治 様
◇金200,000円
阿部 盛旺 様
菅原 俊一 様
安永 達幸 様
吉野 篤 様
(累計金400,000円)
◇金170,000円
加知 恭子 様
◇金150,000円
匿名 1名
◇金130,000円
馬場 雅子 様
◇金100,000円
有村 勝美 様
石田 正夫 様
大熊 壮成 様
岡本 公爾 様
(累計金200,000円)
神島 嘉之 様
神林 常規 様
葛田 正雄 様
(累計金300,000円)
小林 祥晃 様
五味 愛治 様
(累計金150,000円)
杉田 康一 様
寺脇 康文 様
菱沼 捷二 様
匿名 2名
◇金50,000円
飯塚 二郎 様
伊藤 浩 様
岩本 正子 様
内田 憲一 様
内田 創英 様
奥村 弘樹 様
加藤 倫子 様
小町 伸昭 様
篠崎 清 様
鈴木 行生 様
田代 寛 様

原 博夫 様
前澤 浩 様
(累計金100,000円)
守屋 茂 様
(累計金200,000円)
山下 正 様
和田 弘 様
匿名 2名
◇金30,000円
片山 俊一郎 様
(累計金80,000円)
片山 貴雄 様
菅原 榮蔵 様
菅原 佑華 様
(累計金50,000円)
水野 澄 様
吉田 泰士 様
匿名 1名
◇金20,000円
並沢 善雄 様
(累計金60,000円)
山中 靖一 様
匿名 1名
◇金10,000円
赤堀 宏 様
新井 正守 様
市川 憲司 様
岡田 一成 様
(累計金20,000円)
木内 忠興 様
(累計金20,000円)
鈴木 弘昭 様
東村 篤 様
平山 怜美 様
宮地 成美 様
矢野 裕之 様
(累計金20,000円)
山崎 昭雄 様
山崎 哲男 様
山田 和明 様
横田 允男 様
匿名 2名
◇金5,000円
匿名 1名
(在校生)
◇金50,000円
柳楽 勝 様
(元教職員)
◇金100,000円
上原 孝雄 様
戸原 章子 様
平野 道勝 様
匿名 1名
◇金50,000円
柏谷 衛 様
渡邊 昭二 様
(教職員)
◇金1,000,000円
塚本 恒世 様

◇金500,000円
澤 芳昭 様
(累計金1,000,000円)
藤嶋 昭 様
(累計金700,000円)
村田 雄司 様
渡辺 恒夫 様
(累計金1,000,000円)
◇金300,000円
河村 洋 様
(累計金600,000円)
直井 英雄 様
幡野 純 様
◇金200,000円
池北 雅彦 様
稲垣 詠一 様
宇津 栄三 様
(累計金400,000円)
川向 正人 様
松崎 齊弘 様
◇金100,000円
内海 隆行 様
小林 駿介 様
齊藤 進 様
(累計金200,000円)
菅原 秀章 様
(累計金200,000円)
並河 一道 様
藤野 仁三 様
(累計金250,000円)
本郷 孔洋 様
三山 裕三 様
◇金70,000円
白石 安男 様
(累計金180,000円)
山下 輝雄 様
(累計金140,000円)
◇金60,000円
山田 俊彦 様
(累計金150,000円)
◇金50,000円
新井 伊佐男 様
岩片 古志郎 様
河野 守 様
分島 郁子 様
(累計金80,000円)
匿名 4名
◇金35,000円
増田 美智子 様
◇金31,200円
馬場 誠成 様
(累計金848,401円)
◇金30,000円
大野 紀夫 様
◇金25,000円
加賀谷 貞夫 様
(累計金70,000円)
◇金20,000円
児島 紘 様

芝田 興太郎 様
西尾 太一郎 様
(累計金50,000円)
福山 秀敏 様
本間 通正 様
◇金15,000円
佐竹 彰治 様
(累計金35,000円)
原 泰志 様
(累計金30,000円)
◇金10,000円
大木 達也 様
(累計金20,000円)
岡 淳一郎 様
(累計金20,000円)
佐伯 政俊 様
(累計金45,000円)
宗定 勇 様
牧 高司 様
(累計金20,000円)
巻田 悦郎 様
(累計金20,000円)
匿名 2名
◇金2,000円
樋上 賀一 様
(累計金9,000円)

【法人】

◇金3,000,000円
大和理研株式会社 様
◇金100,000円
古川電気工業株式会社 様
◇金91,000円
株式会社東京大学TLO 様

【団体】

◇金200,000円
昭和24年応化卒(芙蓉会) 様
◇金104,162円
2010ホームカミングデー
参加者有志 様
◇金68,500円
研究者情報DB構築プロジェクトチーム 様
◇金40,000円
1部軟式庭球部OB会 様
(累計金70,000円)
◇金21,883円
東京学生会館東京理科大学
分会 様

【こうよう会】

◇金6,475,000円
個人 156名
(累計金20,003,000円)

●入金額

【個人】21,568,200円(133名) 【法人】3,191,000円(3社)
【団体】434,545円(5団体) 【こうよう会】6,475,000円(156件)
●寄付総額(2010年4月1日～2011年1月31日)
【個人】52,015,191円(354名) 【法人】6,141,000円(10社)
【団体】474,545円(7団体) 【こうよう会】20,003,000円(459件)

問い合わせ先

東京理科大学
募金事業事務局
(TEL) 03-5228-8723
(FAX) 03-3260-4363
(e-mail) bokinjigy@admin.tus.ac.jp

悼

高橋安太郎 東京理科大学名誉教授 元東京理科大学諏訪短期大学長
平成23年1月17日に逝去されました。86歳。

富田幸雄 元教授(理工学部機械工学科)
平成23年1月28日に逝去されました。91歳。

新任職員20氏

4月1日付で新採用の職員20人を紹介します



●神楽坂キャンパス：総務課・菅野由起／広報課・竹内千佳／入試課・日野友里子／産学官連携課・松下祐也／経理課・植木景子／管財課(神楽坂)・大川原梨紗／学務課・栗田あとり、学務課教職課程支援室・刈昊／化学系事務室・今村佳乃／理事事務課・山本洋平／学生課(神楽坂)・崔語文／国際交流課・藤本真由
●野田キャンパス：野田事務部庶務課・山田祐理子／野田事務部基礎工学事務課・山口紀子／野田事務部薬学事務課・舟木綾香／野田事務部学務課・吉田幸弥／管財課(野田)・甲秀子／研究事務課・池田晋平
●久喜キャンパス：久喜事務部・檜木美里
●諏訪東京理科大学：諏訪東京理科大学事務部・近藤小雪

西川哲治先生お別れの会を開催

昨年12月15日(水)に逝去された東京理科大学第6代学長西川哲治先生のお別れの会を、大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構との共催で、1月27日(木)に青山葬儀所(港区南青山)で執り行い、約400人が参列しました。福山秀敏本学副学長の司会により開会の辞が述べられた後、参列者全員の黙とうにより先生のご冥福をお祈りしました。続いて、葬儀委員長である塚本恒世理事長が、「西川先生は常に問題意識を持ち、独創的なプランを策定する構想力、そして実現へと導く実行力・指導力で、大学が変革を求められた時代に本学の方向性を指し示し、導いてくださいました」と葬送の辞を述べられました。

次に、鈴木厚人高エネルギー加速器研究機構機構長、藤嶋昭本学学長、石井力本学前副学長、山崎敏光東京大学名誉教

授、木村嘉孝高エネルギー加速器研究機構名誉教授による弔辞があり、研究者として、また教育者として多大なる功績を残された西川先生の思い出が語られました。

先生のお人柄がしのばれる言葉が続いた後、ご遺族を代表して都美子夫人からごあいさつがあり、参列者による献花で閉会となりました。



一般入試志願者 4年連続で5万人を超える

本学の平成23年度一般入学試験（B方式・C方式）は、2月3日（木）の経営学部B方式から始まり、3月24日（木）の工学部第二部C方式までの日程が滞りなく実施されました。平成23年度の一般入学試験（A方式・B方式・C方式）の志願者数は5万2,108人となり、平成22年度の5万499人を大きく上回り、4年連続で5万人を超え、また過去5年間で最も高い数字となりました。

入試形態別にみると、A方式が1万5,863人（前年度比962人増）、B方式が3万2,758人（前年度比917人増）、C方式が

3,487人（前年度比270人減）となり、前年度の高倍率を反映してC方式が多少減少したものの、全体では志願者数が増加しました。

平成23年度は就職に有利であること、昨年の日本人のノーベル賞受賞などの影響で理工系人気が高まり、「理高文低」と予想されていました。また一方で、経済状況の悪化等で「地元志向」「国公立志望」も強まっていました。そのような中、本学ではA方式、B方式ともにほぼ全ての地域で志願者が増加しました。これは本学の伝統である「実力主義」の教学方針のもと、卒業時の質の保証を確

立し、「就職に強い大学」であると広く認知されていることが、このような結果をもたらしたものと考えられます。

18歳人口の減少によるマーケットの縮小はもとより、現在の経済情勢が今後の志願者数の増減に深く関係してくると思われる昨今、「アドミッションポリシー」「カリキュラムポリシー」「ディプロマポリシー」を明確にし、本学が求める学生に対して、本学が理想とする厳しくも魅力的な教育を行うとともに、全国から優秀な受験生獲得を目指した広報活動が重要であると考えています。

新施設「PORTA神楽坂」竣工式

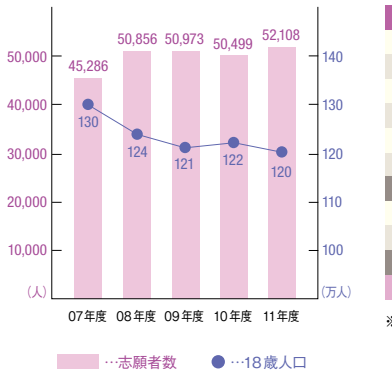
3月26日（土）に「PORTA神楽坂」の竣工式が行われました。「PORTA神楽坂」は店舗や住宅と本学専門職大学院MOT専攻関連施設や理窓会関連施設が入り、神楽坂2丁目に地元と本学の共有施設としてオープンしました。オープニングで行われたテープカットでは塚本理事長、藤嶋学長が、そのほか共同所有者の代表の方、工事関係者が参加しました。その後行われた施設見学、祝賀会には「PORTA神楽坂」の門出を祝うため店舗の方々や本学から多くの参加者が集まりました。

「PORTA」とは門、戸、出入口の意味で、新しい神楽坂の原点となるようにとの願いがこめられています。神楽坂の「学びの門」として学生はもちろんのこと、近隣住民の皆さんにも広く利用されることが期待されます。



上／「PORTA神楽坂」外観、下／テープカットする塚本理事長（中央右）と藤嶋学長（同左）ら

●一般入試志願者数推移



●2011年度一般入試 学部別志願者数

学部	A方式	B方式	C方式	合計（人）
理一	3,470	8,006	809	12,285
工一	2,408	6,252	675	9,335
薬学	1,129	2,069	241	3,439
理工	5,354	11,641	1,324	18,319
基礎工	1,096	2,315	328	3,739
経営	1,630	1,491	49	3,170
昼間部合計	15,087	31,774	3,426	50,287
理二	528	633	--	1,161
工二	248	351	61	660
夜間部合計	776	984	61	1,821
大学合計	15,863	32,758	3,487	52,108

※A方式：大学入試センター試験利用による入試
B方式：本学独自入試
C方式：大学入試センター試験利用と本学独自試験の併用型入試

●2011年度私立大学一般入試志願者数

	大学名	志願者数（人）
1	明治大学	113,905
2	早稲田大学	113,653
3	法政大学	92,819
4	日本大学	92,186
5	中央大学	86,155
6	関西大学	84,833
7	近畿大学	81,389
8	立命館大学	76,011
9	立教大学	67,837
10	東洋大学	67,538
11	青山学院大学	53,961
12	東京理科大学	52,108
13	同志社大学	48,509
14	慶応義塾大学	46,693
15	関西学院大学	45,821

4月12日現在／代々木ゼミナール調べ

山口東京理科大学ニュース

平成23年度入学式

桜満開の中、平成23年度入学式が4月10日（日）に本学5201教室で挙行されました。本年度は工学部機械工学科47人、電気工学科53人、応用化学科63人、大学院修士課程7人、博士後期課程1人、計171人の新入生を迎えました。

新入生諸君へ 山口東京理科大学 学長 塚本恒世

東日本大震災で、多くの尊い命が失われ、想像を絶する甚大な被害が発生しました。心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を願っております。

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。

山口東京理科大学は、東京理科大学の建学の精神「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」を、山口県においても展開し実現するべく設置され、これまで多くの優秀な人材を輩出してまいりました。特に、地方に生きる大学として、「地域産

業界のキーパーソン育成」を目標に掲げ、確かな基礎学力と高度な専門知識の修得を通じ、「地域を愛し」「地域に学び」「地域に貢献する」人材を養成するための教育改革を推進しております。文部科学省から「大学生の就業力育成支援事業」に採択を受け、ものづくりをキャリア教育に活かす新たな取り組みを、本年度から本格的にスタートさせます。また、県内の他大学と連携して、山口県の文化や社会などを一緒に学びも行っています。皆さんも、積極的にこれらの取り組みに参加され、自らの成長を果たされるとともに、将来地域社会の活性化を担う人材として活躍されるよう、強く期待しています。

今日、社会をとりまく環境は大きく変化し、厳しさを増していますが、このような時代だからこそ、皆さんが活躍できる大きなチャンスです。積極果敢なチャレンジ精神で新たな時代をリードし、創り上げていってほしいと思っています。健康に留意し、若い力を思いきり発揮して有意義な学生生活を過ごされますようお願いしております。



マツダ工場見学会開催

2月21日（月）、マツダ株式会社広島本社工場見学会を開催しました。これは、文部科学省GP「大学生の就業力育成支援事業」の一環として開いたもので、自動車の設計・製作・新素材開発等を通じて「ものづくり教育」を展開することで、学生の就業力を育成することを目的としています。

見学会には、マツダ株式会社出身の本学機械工学科の貴島孝雄教授が同行し、ナビゲーターを務めました。参加した学生たちは、複数の車種を製造できる溶接組立ラインで、産業用ロボットが活躍し、プレスラインや部品サプライヤーから送られてきた各部品が、完全自動で自動車のボディ形状に溶接される様子を圧倒されているようでした。

続いて、自動化されたガラス接着剤塗布ラインを見学。従業員一人一人が日常業務の中から改善点を探し、生産効率を高めようとする姿勢がとても印象に残ったようです。

工場に隣接するマツダミュージアムでは、本学の貴島教授も開発に携わり、フランスのルマン24時間耐久レースにて国産車で唯一総合優勝した「マツダ787B」と一緒に記念撮影をしました。



平成22年度学位記授与式挙行される

3月18日（金）、本学で平成22年度学位記授与式が挙行され、基礎工学部電子・情報工学科45人、物質・環境工学科21人、大学院基礎工学研究科修士課程17人、同博士後期課程1人に対し、学位記が授与されました。

開式の冒頭、東日本大震災で犠牲になられた方々を悼み、出席者全員が黙とう。

塚本恒世学長は、式辞で「山口東京理科大学で学んだことを誇りに、自己研鑽に励み、世界をリードするキーパーソンへと成長してほしい。『雨だれ石を穿つ』の言葉のように、地道にこの大学

で培った力を生かし、社会に貢献してほしい」と、はなむけの言葉を贈りました。

卒業生を代表し、電子・情報工学科の福田枝里子さんは、「熱心にご指導くださった諸先生方や、切磋琢磨し合える友人達と出会えたことで得られた知識や経験は、何事にも代え難い財産です。社会に貢献できるよう、生涯にわたって自己の向上に努めてまいります」と謝辞を述べました。

開式後、日本技術者教育認定機構（JABEE）の技術者教育プログラムを修了した、両学科の卒業生に対し修了証が授与されました。



東京理科大学と姉妹校のニュースをお届けします

上／多くの学生が並ぶ学生食堂、下／約6000冊の新書を所蔵した新書コーナー



神楽坂8号館改修完了

かねて進められていた8号館の改修工事が完了し、4月からオープンしました。8号館1、2階には6号館にあった学食が移設され、席数が増えたほか、地下1階には新書コーナーや軽食、学内の催し会場にも利用できる多目的ホールが配置されました。また、3階から5階まで設けられた計13の教室は、神楽坂キャンパスの全学部・学科が利用します。そのほか、地下のドライエリアや屋上の庭園など、利用者のためのより良い環境となるよう配慮されています。

「第5回量子生命情報研究センター（QBIC）国際会議2011」が開催される

3月初旬から中旬にかけ「第5回量子生命情報研究センター（QBIC）国際会議2011」を開催しました。これは本学が平成18年から文部科学省の私立大学高度化推進事業として実施しているハイテク・リサーチ・センター整備事業の「量子生命情報研究センター(略称QBIC)」(研究代表者：大矢雅則理工学部教授)の主催によるものです。3月7日(月)から11日(金)までと13日(日)のメインセッションは、野田キャンパスのカナル会館3階・大会議室で、3月12日(土)のサテライトセッションは、同じくカナル会館3階・大会議室で行われ、途中、地震の影響で参加者が避難し、プログラムが大幅に変更になりましたが、200人を

超える多数の参加者があり無事に開催することができました。

今回の国際会議は、大矢雅則量子生命情報研究センター長のOpening Addressと藤嶋学長のあいさつから始まり、量子情報、量子確率、量子物理、生命情報、確率過程などの研究で国際的に活躍している国外の研究者26人と本学を含む国内の研究者26人による量子・生命・情報に関連する講演が実施されました。

平成23年度は、プロジェクトの最終年度に当たります。5年間のQBIC国際会議は、国際的に見ても類例のない貴重な機会であり、分野を超えて、横断的で活発な議論が行われました。



右／藤嶋学長のあいさつ、中／Opening Addressで講演中の大矢雅則量子生命情報研究センター長、上／昨年に引き続き国内外の多数の参加者を集めて開催された



物華天宝

2011年3月11日(金)14時46分頃、三陸沖を震源とする国内観測史上最大のM9.0の地震が発生し、津波によって2万人を超える多数の死傷者が出てしまいました。また福島第一原子力発電所においてトラブルが発生し、放射性物質の拡散が生じ予断を許さない状況におかれています。八戸で育った私は三陸沖地震と津波の脅威を体験しましたが、今回、津波の破壊力の凄さを改めて知ることとなりました。被災され亡くなった方々のご冥福をお祈りするとともに早急な復興を願っています。

地震災害は諏訪の企業にも影を落とし始めました。沿岸部の工場の被災によって部品調達ができずに困窮する企業も出始め、豊富な水資源を活用して建設した野菜工場は水の放射能汚染を心配しています。

諏訪東京理科大学は地域から支えられ歩んできた大学ゆえに、この難局を信州の地から打開したいと考えています。諏訪圏は従来の精密機械産業から材料と高度医療の二つの新たな産業にシフトし始めています。本学は材料と精密機械をドッキングした高度精密機械産業と高度地域医療システム(メディカル・コンプレクス)を茅野市、信州大学とともに推進しようとしています。多くの人々が訪れる新しい都市への変貌が期待され、藤嶋学長がおっしゃった「物華天宝、人傑地霊」の精神を持って、難題に立ち向かい諏訪理大の将来を切り開きたいと考えています。(諏訪東京理科大学教授 西山勝廣)

諏訪東京理科大学ニュース

平成23年度入学式

4月6日(水)に諏訪東京理科大学第10回目の入学式が挙行されました。本年度入学生は、システム工学部電子システム工学科76人、機械システム工学科59人、経営情報学部経営情報学科114人の計249人でした。同時に本学大学院の入学式が挙行され、修士課程30人が入学しました。

新入生諸君へ 諏訪東京理科大学 学長 河村洋

新入生のみなさん、諏訪東京理科大学へのご入学おめでとうございます。本学は、その母体に130年の歴史を持つ東京理科大学を持っています。この東京理科大学に培われてきた「教育を大切にする伝統」と、「最先端の科学技術に挑戦する気概」は、本学にも脈々と受け継がれています。

3月11日に発生した東日本大震災で命を落とされた方、避難を余儀なくされた方々のことを思うと、本当に心が痛みます。いま、この日本を、再び元気にしなくてはなりません。東京理科大学の建学



の精神は、「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」です。この言葉の示すとおり、いま日本を復興させるには、やはり科学技術の力が必要です。

本学では、「工学と経営の融合教育」に力を入れています。信州、またハケ岳山麓のこの地域は、豊富な自然エネルギーと水、そして食糧を生み出す力を備えています。本学はこれまでも自然から各種の資源を取り出すテクノロジーと、それを社会に組み込むマネジメントに取り組んできました。今後も再生可能エネルギーや地球温暖化をはじめとする環境問題に対して、多角的に理解させる授業や、自らも考えるカリキュラムを用意しています。

本学では、非常にきびしい就職状況の中でも、高い就職率を達成することが出来ました。みなさんが実社会で活躍していくためには、専門的な知識だけでなく、周囲の人たちとの豊かなつながりを持つことが重要です。学生時代は人生の中でも大切な時期です。この美しい自然の中で、実り豊かな学生生活を送ってください。私たちも、それを応援します。



学生部主催行事スキー・スノーボード教室

スキー・スノーボード教室(学生部主催)は2月14日(月)、ピラタス蓼科スノーリゾート(長野県茅野市)で開催されました。学生および教員24人が参加し、白銀のゲレンデでウインタースポーツを満喫しました。学生と教職員の交流を深め、スキー・スノーボードの楽しさを知ることを目的に開催。初めてスキーやスノーボードに挑戦する学生の参加もありました。学生たちは初めてのゲレンデに戸惑いがちでしたが、コツをつかむと歓声を上げて滑走を楽しんでいました。

認証評価結果

本学は平成22年度に財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審し、平成23年3月25日付で同機構が定める基準を満たしていると認定されました。条件なしで、認定期間も最長の7年間でした。

特に、基礎科目の少人数教育編成、工学と経営学の融合教育、環境教育、独自の奨学金制度、アメニティに配慮した教育環境、地域への人材派遣やサイエンス夢合宿を通じての地域貢献等が高く評価されました。

就職、粘り強く健闘平成22年度

平成22年度の学部卒業生の就職内定率は88.4%(3月31日現在)で、就職先は長野県内企業が最も多く7割を超え、以下東京都、山梨県と続き、地元志向が強い結果となりました。業種別では、システム工学部で製造業が約5割、次いで建設業、情報通信業と続き、経営情報学部では製造業が約3割の他、情報通信業、卸売業・小売業、サービス業、複合サービス事業など幅広い分野へ進みました。また、平成22年度第4期生となる大学院修士修了生の就職内定率は、83.3%となり、全体的に昨今の就職環境の厳しさを反映する結果となりました。

しかしながら、そのような状況下においても本学へは地元企業を中心に年間を通じて求人が寄せられ、学生も粘り強く取り組んだ結果、年が明けてから内定が伸びるなど、最終的な就職内定率の増加につながりました。厚生労働省および文部科学省が発表した「就職内定状況調査」によると、平成22年度卒業の大学生の就職内定率は、調査開始以降最低となる77.4%であり、現在の就職環境の厳しさをうかがい知ることが出来ます。

現在就職活動の真っ只中にある学部4年生は、今回の東日本大震災の影響を受け、就職戦線の長期化は避けられないものと予想されます。こうした更なる環境の変化に対応すべく、学生個々の状況に応じたきめ細かい対応を行う一方、今後は各市町村商工会議所やハローワークとも連携し新規求人の開拓にも力を入れていきます。

さらに、学部3年生へは東京への就職活動支援バスツアーの実施等を増加し手厚いサポートを行うことで、来る就職活動に向けた準備を早期より取り組めるよう指導を行ってまいります。

春のオープンキャンパス

3月13日(日)、新高校3年生、2年生および保護者を対象とした春のオープンキャンパスを開催。高校生が48人、保護者49人、合計97人の参加がありました。

「長野県の大学に進学することの意義」と題した学生トークセッションではこの3月に卒業した学生が、本学がなぜ就職に強い大学なのか、地元の企業とのつながりや地域社会への貢献など具体的な事例をもとに、熱く語りました。

その後、高校生は各学科に分かれての学科体験ツアーに参加し、体験講座や研究室見学をし

した。保護者は、ファイナンシャルプランナーを講師とした特別講演会「進学マネープラン説明会」に参加し、メモを取るなど熱心に聞き入っていました。キャンパスツアーや入試説明なども実施され、個別相談コーナーでは入試や奨学金などに関する具体的な相談が行われました。

今回のオープンキャンパスは、3月11日に発生した東日本大震災による災害の状況を鑑み、内容を一部変更して実施しましたが、無事終了することができました。ご参加いただきました皆様に感謝いたします。





Prize

学生・学長表彰

平成22年度に優れた成果を上げた学生・団体が表彰されました

平成22年度に優れた成果を挙げた学生を表彰する「学生表彰式」と「学長表彰式」が、3月に神楽坂キャンパスで行われました。

研究等の成果が特に優れている学生を対象とする学生表彰式は3月10日(木)、神楽坂校舎9号館7階第1会議室で開催されました。大学院生11人の推薦があった中、学長室委員会において慎重に審査した結果、7人が表彰されました。

また、課外活動や社会活動において、優れた功績を上げた者を対象とする学長表彰式を、3月9日(水)に日本出版クラブで開催しました。総勢約160人が見守る中、学長賞に個人2人、学生部長賞に3団体が表彰されました。学長表彰受賞者は右表のとおり。

●平成22年度 学長表彰 受賞者・受賞団体

(所属・学年は受賞時)

学長賞〔個人〕	
竹内 良介 (Ⅰ部体育局 ウェイトトレーニング部 神楽坂 理学部第一部 応用物理学科 4年) 平成22年度関東理工科大学硬式庭球連盟 3位・ベストボーザー賞	伊藤 沙織 (Ⅱ部体育会 舞踏研究部 神楽坂 工学部第二部 建築学科 4年) 第55回全日本学生競技ダンス選手権大会 ワルツの部 2位
学生部長賞〔団体〕	
Ⅰ 部体育局 硬式庭球部 (神楽坂・野田) 平成22年度関東理工科大学硬式庭球連盟 団体リーグⅠ部 準優勝	Ⅰ・Ⅱ部研究会 天文研究部 (神楽坂) ・手作りのプラネタリウムドームや恒星投影機を用いて、幼稚園や児童館などに出張上映を行い、その活動がNHK総合教育テレビ「すイエんサー」で放映された。 ・中国山東省青島市で月が太陽を隠す金環日食を観測、写真・動画撮影に成功し、撮影した写真「沈むリング」が雑誌「星ナビ」5月号に掲載された。 ・飯田橋RAMLAみやこ橋にて一般の方々を対象に「ほしぞら観望会」を開催し、3日間で約500人の方が望遠鏡で月や木星を観望した。
特別奨励賞〔個人〕	
友田 圭祐 (Ⅰ部体育局 硬式庭球部 野田 理工学部 電気電子情報工学科 3年) 関東理工科大学硬式庭球連盟 2010年個人戦 男子シングルス 優勝 関東理工科大学硬式庭球連盟 2010年個人戦 男子ダブルス 優勝(友田・大久保ペア)	村上 青児 (届出団体 Mice 神楽坂 理学部第一部 応用物理学科 3年) 第31回全日本マイクロマウス大会 クラシック競技 フレッシュマンクラス 2位 第25回全日本学生マイクロマウス大会 サーキット競技 2位
奨励賞〔個人〕	
五十嵐 亮平 (久喜 経営学部 経営学科 3年) 毎日新聞夕刊 執筆記事27回掲載	田中 大希 (Ⅰ部体育局 水泳部 野田 理工学部 機械工学科 1年) 第54回東日本理工系大学選手権水泳競技大会 100m・200m背泳ぎ 3位
池田 陽祐 (Ⅰ部体育局 洋弓部 神楽坂 理学部第一部 応用物理学科 3年) 第23回全日本学生フィールドアーチェリー個人選手権大会 コンパウンド部門 優勝	野村 智 (Ⅰ部体育局 水泳部 神楽坂 理学部第一部 数理情報科学科 2年) 第86回日本学生選手権水泳競技大会 男子 50m自由形 106位 第54回東日本理工系大学選手権水泳競技大会 50m自由形 1位 第82回関東学生選手権水泳競技大会 (4部) 男子 50m自由形 7位
大久保 宇悟 (Ⅰ部体育局 硬式庭球部 神楽坂 理学部第一部 化学科 3年) 関東理工科大学硬式庭球連盟 2010年個人戦 男子ダブルス 優勝(友田・大久保ペア)	
功労賞〔団体〕	
環境サークル エコタスク (久喜)	理大祭実行委員会 (久喜)
理大祭実行委員会 (神楽坂)	体育祭実行委員会 (神楽坂・野田・久喜)
理大祭実行委員会 (野田)	
奨励賞〔個人〕	
北林 悠希 (Ⅰ部体育局 局長)他 本部役員 計17人	三好 弘高 (Ⅱ部体育会 会長)他 本部役員 計6人
感謝状〔団体〕	
届出団体 みらい研究室学生実行委員会(神楽坂・野田・久喜)	



左／学生表彰式当日、神楽坂校舎9号館前で、学長と受賞者7人。右／瀬戸副学長(中央右)、小向得学生部長(同左)と記念撮影する学長賞の2人。

学生表彰



田代美智さんに聞く

理工学研究科 工業化学専攻 修士課程2年

電気化学分野では最大の国際会議でその研究が認められ、平成22年度の学生表彰を受賞した、田代美智さんにお話を伺いました。

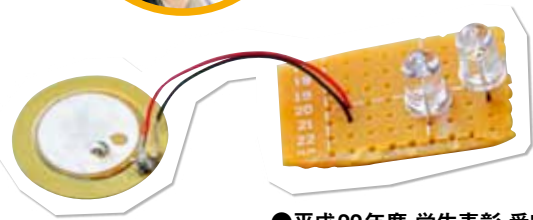
電気化学系最大の学会「アメリカ電気化学会」(会員数8千人、70カ国)の国際会議「218th Electrochemical Society Meeting」で最優秀ポスター賞を受賞した井手本研究室の田代美智さんに話を聞きました。

「研究テーマは、チタン酸バリウムを材料に用いた圧電体の研究です」

圧電体とは、力を加えると電圧が発生する材料のこと。身近なところでは携帯電話のコンデンサーやインクジェットプリンターのインク噴出制御などに用いられています。「現在使われている材料は鉛を含んでいるため、環境への影響を考慮して今後は規制されていく方向にあります。その代替材料であるチタン酸バリウムの特性を向上させるのが研究の目的です。もともと「環境にやさしい技術」に興味があったので、井手本研究室の門を叩きました」

3年間の研究生生活で、田代さんは基礎研究の面白さや奥深さにあらためて気づいたと語ります。「基礎研究は、例えて言えば地面を真下に向かってひたすら掘っていく作業。同じ材

田代さんの研究する圧電体。丸いプレートの中に圧電体が入っており、押すとLEDが光る仕組みになっている。



料でも、製法の違いによってまったく異なる特性を持つ物質ができる。そしてマイクロレベルで見ても構造の違いがわかるんです。「うまくできてるなあ」って感動しますよ(笑)」

ポスター発表では、コミュニケーション力の大切さを痛感したと語ります。「言葉も研究分野も異なる人たちに、まず私のポスターの前で立ち止まってもらうことがスタート。表情や話し方のトレーニングにも時間を費やしました」

卒業後は、金属メーカーへの就職が決まっています。「井手本研究室で磨きあげたコミュニケーション力を生かして、社会で活躍できればと思っています」

田代美智

理工学研究科工業化学専攻修士課程2年。2010年、電気化学系最大の学会であるアメリカ電気化学会において、最優秀ポスター賞を受賞。学部時代はバスケットに打ち込む、スポーツ好きな一面も。



アメリカ電気化学会にて(右端)

●平成22年度 学生表彰 受賞者

(所属・学年は受賞時)

受賞者	受賞内容
有竹良数 総化・総化・修2年	光学活性金属錯体と機能性金属錯体ならびに光応答性有機化合物の有機無機複合機能材料と分光学的測定などの研究を行い、修士課程在学中に原著論文9件、著書1件の研究業績を上げる。
小澤瞳 総化・総化・修2年	キラル化学に関する研究を行い、研究成果が英国王立化学会「Chemical Communications」に掲載。同機関誌の「Chemical Science」にもHighlight(The achiral key to life)として紹介される。また、同研究成果は日本化学会「Chemistry Letters 2011」にも掲載予定。さらに、モレキュラー・キラリティー2009及び有機合成化学北陸セミナーのポスター賞も受賞。
小野圭輔 総化・総化・博1年	光学活性化化合物を与える新規手法の開発に取り組み、これまでの成果を、第6回・第7回のSymposium on Chemical Approaches to Chiralityにて発表し、優秀ポスター賞を2回受賞。これらの成果が化学の一流学術誌「JACS」に掲載されるなど、世界的に高く評価されている。また、この論文はThieme出版社の「SYNFACTS」により特に注目される合成反応として選出された。
日名子洋平 工研・電気・修2年	電気自動車や配電用機器への応用が期待されるマルチレベルインバータの研究を行い、工学系世界最大の学会であるIEEEが発行する論文誌に第一著者として掲載されたほか、IEEEが共同主催する主要な国際会議に3件の論文が採択された。電気学会より「100周年記念基金国際交流助成」対象者として採択され、パリで開催されたIEEE ISCAS 2010にて同研究を発表。
田代美智 理工・工化・修2年	無機材料科学の研究を行い、アメリカ電気化学会の「218th Electrochemical Society Meeting」におけるStudent Poster Sessionで発表。本研究結果が106件の内で最も優れていると認められ、First Place, Solid-State Science and Technologyを受賞。また、電気化学会の関東支部第27回夏の学校において、優秀ポスター賞を受賞。さらに、International Congress on Ceramicsの国際会議では英語の口頭発表を行う。
廣戸孝信 基工・材料・修1年	正20面体磁性クラスターからなる新規物質の研究を行い、その研究成果はPhysical Review BのRapid Communication誌に論文が掲載された他、日本物理学会などの国内学会で3件、国際会議で2件発表。昨年12月にはアメリカのアルゴンヌ国立研究所でアメリカの磁気散乱の研究グループと共同で放射光実験を行う。また、日本MRS学術シンポジウムにおいてポスター発表し、奨励賞を受賞。
羽鳥僚 基工・生物・修2年	臓器の左右非対称性について研究を行い、日本発生物学会主催による第43回大会における口頭発表において優秀発表賞を受賞。さらに、「The International Society of Differentiation」主催による第16回国際会議においても優秀発表賞を受賞。

学長表彰



竹内良介さんに聞く

(I部体育局 ウェイトトレーニング部 理学部第一部応用物理学科4年)

第45回全日本学生ボディビル選手権大会で、総合3位とベストボーザー賞を受賞した竹内さんに、その成果の秘訣を伺いました。

竹内さんは第45回全日本学生ボディビル選手権大会で総合3位およびベストボーザー賞を受賞しました。

「高校時代まで水泳をやっていたんですが、当時から、トレーニングでカラダが変わっていくことに興味があり、ボディビルディングを始めました」

東京理科大学ウェイトトレーニング部は、年2回の関東学生パワーリフティング選手権大会と、年1回の関東学生ボディビルディング大会を目標に、日々トレーニングを行っています。

「週に1回、全体練習を行います、自主練習が中心です。自分は週5日、1日に3時間をトレーニングにあてていました」

鍛え上げた筋肉の美しさを競うボディビルディングでは、余分な脂肪を落とすため、大会前には過酷な減量が必要となります。

「普段は85kgの体重を、3カ月かけて73kgまで減量します。減量中は鶏の胸肉や卵の白身など、たんぱく質中心の食事で、炭水化物は必要最低限の量に減らします。自分はバンが大好きなので、減量期間は辛いですね(笑)」

「競技生活の中で、妥協せずに自分を追い込む姿勢や忍耐力を学んだ」という竹内さん。今後は日本選手権優勝を目指してトレーニングを続けていくそうです。



関東学生ボディビル選手権大会でのポーズ。



竹内良介

高校時代までは水泳部で活躍するが、ウェイトトレーニング部に所属し、大学2年生の夏にボディビルディングをスタート。将来の夢は、全日本ボディビル選手権で1位を取ること。



伊藤沙織さんに聞く

(II部体育会 舞踏研究部 工学部第二部建築学科4年)

競技ダンスに魅了された大学の4年間。集大成としての全日本選手権で、第2位を受賞した伊藤さんに当時を振り返ってもらいました。

伊藤沙織さんは、昨年12月に開催された第55回全日本学生競技ダンス選手権大会「ワルツの部」で、参加59カップル中第2位を受賞しました。

「最後の全日本で実力を出し切ることができたので、満足しています」

各大学の4年生が日本一を目指す全日本選手権は集大成ともいべき大会。優勝した東大カップルは4年間を通じてのライバルでした。

「勝てなかったのは残念です。でも、優勝したのが東大カップルでよかった。私たちがエネルギーあふれる演技、東大カップルはエレガントな演技と、持ち味も対照的で、本当に良きライバル関係でしたから」

東京理科大学舞踏研究部は、近年、全国大会で常に上位入賞を果たしています。

「練習は、週2回の全体練習を含め週に5日、1日4時間行います。夜遅くまでの自主練習も欠かせません」

卒業後はアマチュアとして競技を続けていきたいという伊藤さん。ダンスを通じて学んだものも大きいと語ります。

「優雅に見えるダンスですが、体の隅々まで細やかな動きを意識する必要があるんです。物事を緻密に考える忍耐力を養うことができました。この経験を今後も役立てていければと思っています」



JBDF東日本選手権での、ワルツ競技の様子。



伊藤沙織

武道館で開催された大学の入学式で舞踏研究部のデモンストレーションを見て、競技ダンスを始める。東京理科大学舞踏研究部は、毎年全日本大会で決勝に進む人がある、強豪クラブ。

Topics

近代科学資料館で企画展『火災の科学』を開催

東京理科大学の近代科学資料館は、2011年春の企画展として、『火災の科学—江戸の火災から高層ビル火災まで—』を、5月18日から8月8日まで開催します。本学は、1962年の工学部発足以来、『火災科学』の研究分野で中核的役割を果たしてきました。その実績を背景に、明治に始まる日本の火災研究の歴史から、最新の火災研究までを展示し、研究者たちの取り組みを紹介します。



『半導体科学技術百科事典 (SEST)』出版

本学の上村 洸名誉教授(写真)ら日米独の半導体研究者3人が編集者となった『半導体科学技術百科事典 (SEST)』が完成し、2月28日付の日本経済新聞に紹介されました。20世紀前半に研究が始まった半導体の基礎から、進歩を続けるナノテクノロジーや量子エレクトロニクス、また現在注目されているスピン・ホール効果などの最先端分野を網羅した内容となっています。大学院生向けの教科書としても使える実用的な事典となっています。詳細は同紙をご覧ください。



受賞一覧

東京理科大学学生の各種論文・研究発表等の受賞一覧 (2010年10月～ 2011年3月)

受賞者 (所属・学年は受賞時)	受賞名	大会・学会名	受賞テーマ等	受賞日
望月 勝紀	理工研・土木・修2	優秀論文発表賞	第45回地盤工学研究発表会	2010/10
溝口 舞	工研・建築・修1	優秀講演奨励賞	平成22年度空気調和・衛生工学会大会	2010/10/20
安田 和史	MIP・総科技経研・知財・修了	優秀賞	第二回東和知的財産研究所懸賞論文	2010/10/28
浅野 卓	MIP・総科技経研・知財・修了	佳作	第二回東和知的財産研究所懸賞論文	2010/10/28
國富康嵩	MIP・総科技経研・専門職学位2	佳作	第二回東和知的財産研究所懸賞論文	2010/10/28
田中 弘洋	総化研・総化・修2	Best Poster Award 2010	第9回日韓材料界面シンポジウム	2010/11/1
坂部 雅人	理工研・工化・修1	優秀ポスター賞	2010年度色材協会研究発表会	2010/11/4
森田 くらら	総化研・総化・博2	優秀ポスター賞	2010年度色材協会研究発表会	2010/11/4
伊村 芳郎	総化研・総化・博2	優秀ポスター賞	2010年度色材協会研究発表会	2010/11/4
佐野 富士男	基礎工研・材料・修1	優秀ポスター賞	2010年度色材協会研究発表会	2010/11/4
羽鳥 僚	基礎工研・生物・修2	The Beverly Kerr McKinnell Honorable Mention Award	16th International Society of Differentiation Conference	2010/11/17
山際 清史	総化研・総化・博2	年会ポスター賞	第37回炭素材料学会年会	2010/12/2
鈴木 菜津美	理工研・工化・修2	ゴールドポスター賞	2010年度材料技術研究協会討論会	2010/12/3
関田 彩紗	理工研・工化・修2	ゴールドポスター賞	2010年度材料技術研究協会討論会	2010/12/3
吉野 佐江子	理工研・工化・修1	ゴールドポスター賞	2010年度材料技術研究協会討論会	2010/12/3
由良 聡	基礎工研・材料・修1	ゴールドポスター賞	2010年度材料技術研究協会討論会	2010/12/4
住近 理紗	総化研・総化・修2	ポスター賞	材料技術研究協会討論会	2010/12/4
柳橋 健司	理工研・工化・修2	若手講演賞	第60回有機合成化学協会関東支部シンポジウム	2010/12/5
廣瀬 雄子	理工研・電気・修1	ポスター奨励賞	第2回半導体材料・デバイスフォーラム	2010/12/11
針見 傑史	理工研・建築・修1	優秀賞	TEPCOインターカレッジデザイン選手権	2010/12/18
山下 大輔	薬研・薬学・博3	ポスター賞	2010環太平洋国際化学会議(PACIFICHEM 2010)	2010/12/19
廣戸 孝信	基礎工研・材料・修1	奨励賞	第20回日本MRS学術シンポジウム	2011/1/4
石渡 崇二	理研・物理・修2	奨励賞	第20回MR S-J学術シンポジウム	2011/1/4
青木 優介	総化研・総化・修2	ニッポン放送杯	第27回土光杯全日本青年弁論大会	2011/1/8
小林 直樹	基礎工研・電子・修2	テレビジョン技術分野セカンドベストペーパー賞	2011年IEEEコンシューマエレクトロニクス国際会議 (ICCE2011)	2011/ 1/10
佐野 優穂	経営・経営・3			
江副 春菜	経営・経営・3	入賞	第11回「日経STOCK」リーグ	2011/2/23
住谷 理香	経営・経営・3			
栗原 悠	経営・経営・3			
河戸 瑛史	経営・経営・2	入賞	第11回「日経STOCK」リーグ	2011/2/23
菊池 洋行	経営・経営・2			
桑原 拓也	経営・経営・2			
酒谷 拓孝	経営研・経営・修1	奨励賞	情報処理学会第73回全国大会	2011/3/4

Event

2011.02 ~ 03

東京理科大学で開催されたイベントのニュースをお伝えします

01

葛飾キャンパス建設予定地で地鎮祭が行われました

平成25年4月に開設する葛飾キャンパス建設工事の地鎮祭が、2月2日(水)午前11時から、建設予定地の葛飾区新宿6丁目で行われました。

式典には塚本恒世理事長、藤嶋昭学長をはじめ、理事、副学長、学部長など大学関

係者、また青木克徳葛飾区長ら葛飾区関係者、および工事関係者約100人が列席のもと、鎮入れの儀、玉串奉奠等が厳かに執り行われ、工事の安全を祈願しました。引き続き直会が行われました。新キャンパス竣工は平成24年12月の予定。



上／鎮入れの儀を行う塚本理事長、下／葛飾キャンパス地鎮祭の様子

02

かこさとし先生講演会を開催

本学森戸記念館に完成した「坊っちゃん」とマドンナちゃんのこどもえほん館」の開館を記念して、2月17日(木)、著名な絵本作家で児童文学者、工学博士でもある、かこさとし先生による講演会を開催。本学学生をはじめ、近隣の児童や保護者ら約100人が訪れました。かこ先生は『からすのパンやさん』(偕成社)や『だるまちゃんとてんぐちゃん』(福音館書店)など約500点もの作品を発表されています。かこ先生は「子どものあそび・こどもの絵本」をテーマに、「石けり遊び」や「へのへのもへじ」などの身近な遊びから見てくる子どもたちの想像力・発想力の豊かさについてお話しされました。サイン会では長い行列ができ、参加者らはかこ先生との交流をとても楽しまれた様子でした。



03

姜尚中先生の講演会を開催

3月10日(木)に研究社英語センタービル(新宿区神楽坂)で、生涯学習講座二村基金セミナーの一環として姜尚中東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授の講演会が開催され、本学学生、教職員約160人が参加しました。姜先生は「教養の意味」をテーマに教養とは何か、なぜ教養が必要なのかということについて、政治や学問、情報化社会などさまざまな視点から具体的な事例を交えて話しました。また、話の中で「専門分野と専門分野を結ぶのが教養。東京理科大学の8学部を結ぶのは教養です」と本学にメッセージを送りました。参加した学生からは「教養という普段、理系の学生では考えないことをさまざまな観点からお話しいただき大変良い機会となりました」などのコメントが寄せられました。



水元公園

約82ヘクタールという都内でも屈指の広さを持つ公園。園内にはソメイヨシノ、ヒガンザクラ、八重桜などさまざまな種類の桜が168本植えられています。春には、地元の人たちがお花見を楽しむ姿が多く見られます。
●JR常磐線金町駅から京成バス大場川水門行きで10分、水元公園下車、徒歩7分



水元さくら堤

水元公園の西端に沿うように走る通りは、昔からの桜の名所。679本の桜が植えられた通りでは、見事な桜並木が見られます。遊歩道沿いにはあずま屋などもあり、春の散歩にはうってつけのスポットです。
●JR常磐線金町駅から京成バス戸ヶ崎操車場行きで10分、水元公園下車、徒歩5分

立石さくら通り

区役所の脇に位置する、約650mの桜並木。127本のソメイヨシノが道路の両側からアーチを形作っています。夜桜はとくに幻想的で、4月上旬には「かつしかさくら祭り」が開催されます。
●京成押上線京成立石駅から徒歩7分



小菅西公園

関東富士見100景のひとつ、小菅西公園では、桜のほか、ろう梅など、季節ごとに花が楽しめるスポット。季節に応じた花時計やアスレチック施設も人気の高い公園です。
●京成本線堀切菖蒲園駅・東武伊勢崎線小菅駅から徒歩15分



Vol.4 桜色に染まる、お花見スポット

葛飾区には、水元公園をはじめとする、桜の名所があちこちにあります。春の訪れを告げるお花見スポットを紹介します。



生協

スタイル

No.8

がんばれ、フラスコ太郎くん!

生協で働くフラスコ太郎くん。今日も組合員への新(?)サービスをご提案します。



②「教習所に通うなら生協申し込みがお得!」の巻

生協では自動車教習所の申し込みが出来ます。直接教習所へ申し込みに行くより断然お得!



提携校はすべて実地試験が免除されたり、技能予約が優先されたりできます。僕が考える新たな教習特典はですね!

ミニ四駆教習合宿!!!

これこそ僕の特技と特典がうまく融合した最終形態です!! どうしてませらやうのそこ...

平成22年度 5,299人に 学位記・ 修了証書を授与

神楽坂キャンパスにて

3月19日(土)、神楽坂キャンパスで学位記・修了証書の授与が行われました。平成22年度は東日本大震災の影響により、日本武道館での授与式を中止し、学部・専攻ごとに各教室で行われることとなりました。

藤嶋学長は孔子の言葉を引用し、「まずは知ることから始めそのことが好きになれるよう努力し、どんなことでもこれだということを決めたら、楽しくて仕方ないという心持ちで実行してください」とメッセージを送りました。

震災からの復興はもちろん、社会は変革の時代で卒業生の行く手にもさまざまな試練が予想されます。5,299人の卒業生には、これらを乗り越えることができる「実力主義」の伝統を受け継いだ理科大卒業生として、さらなる活躍を期待します。

新たな進路へと旅立つ最後の1日、卒業生は恩師や仲間との別れを惜しんでいました。



「まずは
知ることから始めて」

藤嶋学長



長万部学寮退寮式

2月2日(水)、長万部キャンパスで基礎工学部第24期生の退寮式が執り行われ、334人の学生が長万部学寮を退寮しました。式では、友岡康弘基礎工学部長、藤井志郎教養部長より激励の言葉があり、長万部町の松田修二副町長からは温かい言葉とともに記念品が贈呈されました。また、代表学生厚井悠太さん(生物工学科)、星明日香さん(電子応用工学科)の謝辞に一同思いを重ね目頭を熱くする場面も見られました。長万部学寮で1年間過ごした彼らは4月から野田キャンパスでの新しい歩みを始めました。



代表学生の謝辞(上)と、退寮式の様子(下)

就職

「氷河期」並みの 厳しい状況の中、 88.9%が 進路決定

平成22年度の就職状況は円高などにより景気の先行きに対する不透明感が払拭されないなか、製造業の求人が増加に転じたものの、小売業や金融機関などが採用を抑制し、「就職氷河期」並みの厳しい様相となりました。学生の就職活動は「就職情報サイト」の利用を中心に行われ、大手企業偏重の傾向が強まり、その結果「厳選採用」による内定者の二極化、就職活動の早期化が一段と進みました。一方採用意欲の高い中小企業においては「厳選採用」としながら10月以降も追加・再募集が継続的に行われました。

こうした状況下、本学の進路決定率は88.9%(3月18日現在)となっています。右表のとおり大手電機・自動車メーカー、情報産業への内定が目立っています。教員関係は公立・私立に173人が内定し、前年度より上回っています。また、国家・地方公務員は120人が内定しています。なお、大学院修士課程には本学を中心に1,930人(進学率50.4%)が合格しました。

今年度は3月に発生した東日本大震災の影響による経済活動の低下などが懸念されており、厳しい就職状況が予想されます。早い段階からの自己分析を行い、将来の進路選択に備えてください。就職課では低学年からのキャリア支援をはじめ、さまざま

●平成22年度主要内定先(多数順)

企業	※(株)は省略	内定者数
日立製作所		31
東日本旅客鉄道		24
キャノン		20
NTTデータ		19
ホンダ		18
東日本電信電話		15
野村総合研究所		15
三菱電機		14
NTTコムウェア		14
富士ゼロックス		13
日立ソリューションズ		13
大日本印刷		11
みずほ情報総研		11
リコー		10
トヨタ自動車		10
日本電気		9
KDDI		9
ヤフー		9
大林組		8
テルモ		8
東海旅客鉄道		8
東京電力		8
清水建設		7
アステラス製薬		7
三菱重工業		7
日本ビューレットバックカード		7
山武		7
イオンリテール		7
三井住友銀行		6
シャープ		6
鹿島建設		6
国家公務員・地方公務員		
特許庁		5
東京都職員		14
特別区(東京23区)職員		10
教育		
公立(中学・高等学校)		111
私立(中学・高等学校)		62

なサポートを行っています。6月には学部3年生・大学院修士1年生を対象とした「進路ガイダンス」が始まり、順次、各種講座を実施します。キャリア支援行事は低学年の参加も可能です。積極的に参加し将来の進路選択への意識を高め、不安や疑問があれば遠慮なく就職課に相談してください。

IT業界の先を読む

後藤 陽孝さん

めまぐるしく変わるITの進化と共に成長 情報コミュニケーションの未来を考える

「コンピュータ、そしてインターネットとの出会いが僕の人生を決定づけました」

その言葉通り、後藤陽孝さんの経歴は、日本のITの歴史とびったり符合している。

「小学校6年生のときに『これからはコンピュータの知識が不可欠だ』と、父が買ってくれたコンピュータで、ゲームやプログラミングに熱中しました」と後藤さん。

理科大では、中曽根祐司教授のもとで人工知能の研究を専攻した。

「研究室で、海外の論文を参照するためにインターネットの知識が必要だったんです。ちょうどモザイク(Mosaic)という世界初のWebブラウザが普及し始めた頃でした。解説書を読むうちに、インターネットの世界に魅了されてしまいました」

96年、大学4年のときにパソコンの使い方を教える(有)コムコンピュータスクール(後に(株)コムへ組織変更)を設立する。社員は2人。パソコンが普及し始め、企業もWebに関心を示し始めた時期だった。

「スクール経営の傍ら、生徒だった議員さんの紹介をきっかけに政党や企業のWebサイトを手がけていました」

その後、Web制作の需要が拡大し、ブリヂストンなどの企業サイト制作を中心に業務を展開してきた。この4月にリニューアルした東京理科大学公式ホームページのリニューアルにも関わっている。

「企業の膨大な情報を整理し、迅速にわか



りやすい形で世の中に発信する……これは理科大で徹底的に叩き込まれた能力だと思っています。毎週50枚のレポートを手書きで作成する根性も培いました(笑)。理科大で学んだ日々は、私にとってはかけがえない財産ですね」

昨年10月、新たなステップに挑戦するため、会社の代表を退いた。現在はシンガポールで起業の準備を進めている。

「海外での起業は、ネットを通じた情報発信で“日本の言葉や文化の中だけでものを考えている時代は終わった”と感じたからです。今後は国境を超えたコミュニケーションが当たり前になっていくでしょう」

今は英語の勉強に没頭しているという後藤さん。その表情は、新天地での再スタートに向けた自信に満ちていた。



後藤陽孝(ごとう・ひろたか)

1974年千葉県生まれ。1997年、東京理科大学工学部機械工学科卒業、大学院工学研究科機械工学専攻中退。2010年10月(株)コム社長を退任し、現在はシンガポールで起業の準備を進めている。

創立130周年を迎え、学報がリニューアル

今年2011年は東京理科大学創立130周年の節目の年です。これを迎えるにあたり、東京理科大学報は紙面を一新してお届けすることになりました。本学に関するさまざまな情報を、より見やすく、楽しく、分かりやすくお伝えしていきます。本紙は1967(昭

和42)年に創刊し、年4回発行の季刊紙として号を重ねてきました。今回のリニューアルで3世代目に移行します。学生、教職員、卒業生、ご父母、そして本学関係者の皆様を結ぶ広報紙として、魅力あふれる紙面を目指します。どうぞご期待ください。

大学公式ホームページがリニューアル

4月から東京理科大学の公式ホームページがリニューアルしました。今回改善されたポイントは、以下のとおりです。

①ワイド画面化や、ナビゲーションルールの統一などが行われ、利用者の使いやすさが向上しました

②最新技術への対応が行われるとともに、独自性のあるデザインが導入されました

③英語版ホームページのコンテンツが拡充されました

リニューアルにより、1994年に公開された初代ホームページから数えて4世代目に移行します。



＊お詫び＊

本紙第180号に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

●2面「新学部長・研究科長就任の言葉」理工学研究科長 阿部正彦(願)見出し“低炭素社会”の実現に向けて(正)見出し“低炭素社会”の実現に向けて

次号予告

- 国家公務員試験結果
- 平成22年度決算報告
- 近代科学資料館リニューアルオープン
- サイエンスフェア開催 など

発行所

東京都新宿区神楽坂1-3
東京理科大学広報課
☎03-3260-4271
http://www.tus.ac.jp/